

●問い合わせ 中央公民館  
TEL 32-1132 FAX 37-1153  
●編集 公民館報編集委員会  
●印刷 株式会社 プラット

発行  
2020  
5/30

# 公民館報

# まつもと

シリーズ 受け継ぎ伝える松本のたから 49

## 新型コロナウイルス 感染症対策の中で 小学校の入学式

観測史上最も早い桜が開花した中で、4月6日の午前中に、市内の公立小学校で入学式が開催されました。開智小学校への入学児童は96人、市全体では1907人、勉学に励みます。今年は新型コロナウイルス感染症対策のため、保護者も子どもたちもマスク着用でした。式典も来賓は招待しないで短時間で終了しました。

ところが僅か4日後には緊急事態宣言の影響で、再び臨時休校となっていました。早く終息して、日常生活に戻ることを願いながら…

未来を担う  
小学生が入学







和合市長退任

**第11代和合正治市長**  
 ●1976（昭和51）年  
 1992（平成4）年  
 深沢市政を引き継いだ和合市長は、1978（昭和53）年やまびこ国体、1986（昭和61）年中央道長野線の開通、1994（平成6）年松本空港ジェット化などに尽力。



有賀市長就任

**第12代有賀正市長**  
 ●1992（平成4）年  
 2004（平成16）年  
 文化面では1985（昭和60）年に「音楽とスポーツ都市宣言」を行い、サイトウ・キネン・フェスティバルの誘致にも力を注ぎました。



菅谷市長就任

**第13代菅谷昭市長**  
 ●2004（平成16）年  
 2020（令和2）年  
 医師である菅谷氏は就任当初から「健康寿命延伸都市・松本」を将来の都市像に掲げ、一人ひとりの命と暮らしを尊

現職候補の和合正治氏との選挙は、後に「92年の92票差」といわれる大激戦でした。在任中は行政改革を進め、全地区に地区公民館と地区福祉ひろばを設置し、社会福祉の充実を図りました。また、2004（平成16）年開館のまつもと市民芸術館の建設、2007（平成19）年新設開業した篠ノ井線平田駅、国道19号の4車線化や中信地域の合併協議を推進しました。



臥雲市長就任

**第14代臥雲義尚市長**  
 ●2020（令和2）年  
 今回の選挙は現職市長の退任を受け、戦後最多の新人6人が立候補。新型コロナウイルスの影響も受け、異例の選挙戦でした。

「誰も置き去りにしない、どの地域も取り残さない、誰もが豊かな松本を創るため、静から動へ、松本を前進させる市政をめざす」新市長に、市民は期待しています。

重した、人と社会の健康づくりに4期16年間にわたり尽力し、食品ロスへの取り組みは国を動かしました。松本市は都市力ランキングのベスト10入りなど、国の内外から高い評価を得ました。

**おこひる**

3年以上続いている毎月の食事が、ある。まあよくぞと、我ながらびっくりしている。高校時代の友達4人である。4人となると、スケジュールを合わせるのに大変だった▼まずは、曜日を決め、都合のいい日と時間を決めた。当日になり急に用事が入ったり、具合が悪くなったりして、無しになった時もあったけれど今も続いている▼親の介護をしている人、高血圧、足腰が痛いなど、みんなそれぞれに事情はあるけれど、食事会の「元気だったあ？」で始まり、学生時代の話に花が咲き「楽しかったよねえあの頃は」と時間の経つのを忘れてしまう▼悩みなどを聞いてもらったり、お料理のレシピを教えあったり、あそこのお医者さんがいいらしいよと、情報交換などしたり、話が尽きない▼食事会の時、ちょっとした手土産を持って行く。私は、お菓子やパンなどだが、友達から玉ねぎや白菜、ホウレン草などの野菜をもらうと、とてもありがたいし、嬉しい。そして次の予定を決め解散。次回が楽しみである。



歴史探訪

## 探ろう松本 17

ふるさとを輝いている 安曇地区

北アルプスに抱かれ、美しい自然に恵まれた景勝の地

## 地区の概要

市西部にあり、人口は市全体の約0.6% (1419人・5月1日現在、面積は約41%で、98%が山岳地帯です。

集落は地区の中央を東西に流れる梓川と支流の前川沿いに点在し、乗鞍高原を除くと小さな平坦地や緩斜面に形成されています。地区内でも標高差が大きくて気候にも違いがあり、島々と乗鞍高原とは、春の草木の開花に20日ほどの違いがあります。

## 山で暮らす御用柚の村

昔から林業や養蚕などで生計を立てていましたが、江戸時代に松本藩のもとで、大野田・島々・稲核・大野川の4村が「入四か村」としてまとまり、藩有林で建築用材・薪・炭の生産と搬出を請負い、報酬として米と現金を受け取る御用柚の村となりました。15歳以上の男子全てが登録されて山仕事に従事するという仕組みが、明治7年の合併で安

曇村になるまで続きました。

## 電力開発と村の変化

大正8年に水路式発電所が島々に完成し、昭和12年までに8か所造られました。発電所建設資材運搬道路が生活道路として活用され、上高地・白骨・乗鞍高原へのバス運行が可能となり、観光を地区経済の柱とする道が開けました。

戦後の電力需要増大に伴って大型ダムが計画され、住民の移転などの協力を得て、現在の安曇三ダムが完成しました。電力は東京電力送電網で、大部分が関東方面へ送られています。

ダム建設に伴い、国道158号線も梓川沿いから高い所に付け替えられ、全面舗装となり、人の往来も増えました。



昭和初期  
上高地へ向かう乗合バス  
(松本市立博物館 提供)

## 地域の特性を活かして



奥穂高岳登頂！

観光 事業の 発展と 交通事 情の改 善に伴 っ人 口も増 えて、 集落や 公民館

を核にそれぞれが特徴のある地域づくりをしてきました。公民館では、安曇村時代からの行事を受け継ぐと共に、参加者の幅を広げたいという思いから、新しい講座も積極的に取り入れています。

地区内に2校ある小中併設校も地区住民との交流があり、安曇校では中学生が高齢一人暮らし世帯へのごみ出しボランティアを行い、大野川校では住民との合同運動会が45年間も続いています。

2校の中学1年生が、日本を代表する北アルプス最高峰・奥穂高岳に2泊3日の合同登山をするという、全国唯一の行事も平成13年から続いています。在校生徒が少なくからこそできる貴重な体験です。

## 地産地消のかんたんレシピ

蒸し上がったおこわに山菜を混ぜる

## 『山菜おこわ』

タラの芽、コシアブラetc.  
何でも混ぜて香りを楽しむ！

材料：もち米、人参、油あげ、山菜、砂糖

1. もち米を洗い、飾り切りした人参・油あげを入れて蒸かす
2. 蒸け上がったら溶いた砂糖水で、シトを打つ
3. 更に15分蒸してボールに移す
4. 茹でた山菜を細かく切って3に混ぜる



2012年に始めたこのコーナーは今回で終了です。  
みなさんも地元食材を楽しみましょう。

## くヤマドリく

世界中で日本にのみ分布している日本特産種。全体に赤褐色で縦斑があり、オスは尾が極めて長く90cm程あり、黒い横縞が目立つ。繁殖期に翼を羽ばたかせて音を立てる母衣打(ほろ打ち)をする。野外で出会うのは少し困難な野鳥。この写真はアルプス公園の園路に出てきたオスで、翼を広げているのは後姿からの母衣打のポーズ。

エサを求めて…  
(撮影:2020.3.17 アルプス公園)



珍しい母衣打姿  
(撮影:2020.3.17 アルプス公園)